

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	高齢者施設の整備・運営支援	施策No	02-05	部課名	福祉部福祉推進課
				課長名	吉野 内線 2610
関連部課名	福祉部介護保険課				
行政評価	分野	I	生涯健康都市		
事業体系	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成		

目的 介護等の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、また、施設で適切なサービスを受けられるよう、安定的な運営とサービスの向上を図るとともに、高齢者施設の整備を進める。

指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文
	25年度	26年度	27年度		
①	福祉の充実度	3.07	3.04	3.07	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)		
①	特別養護老人ホーム入所待機者数	176	171	119	150	150	年度末現在 要介護4・5で在宅もしくは介護療養型施設に入所している方は平成28年3月末現在119人となっている。
②	特別養護老人ホームの施設数(定員数)	7(588)	7(588)	7(588)	7(588)	7(588)	年度末現在
③	都市型軽費老人ホームの施設数(定員数)	5(79)	5(79)	5(79)	5(79)	5(79)	年度末現在
④							
⑤							

現状と課題（指標分析）

○特養ホームの入所待機者数のうち、特に入所の必要度が高い要介護4・5で在宅もしくは介護療養型施設に入所している方は平成28年3月末現在119人となっている。区は、入所待機者の減少を図るため、平成24年3月に「癒しの里南千住」、平成25年3月に町屋「おたけの郷」を整備した。これにより区内の特養ホームは、合計7か所、定員588人となった。

○区立の特養ホーム及び通所サービスセンターは、介護保険法改正の影響を踏まえながら、サービスの向上、人材の確保と処遇改善、施設修繕などを行い、安定的な運営をしていくことが求められている。また、大規模災害発生時は、福祉避難所として要介護高齢者を支えることが期待されており、指定管理者といたそう具体的な協議をしていく必要がある。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

○大規模な特養ホームについては、第5期荒川区高齢者プランの計画どおり整備が完了した。地域密着型施設の整備をはじめ、今後の施設整備のあり方について検討していく。

○区立特養ホームについては、財務状況等を勘案し、経営支援補助制度により、引き続き施設の安定的な経営を確保し、サービスの維持、向上を図るための支援を行う。また、指定管理者との連携を緊密にし、福祉避難所運営に関する協定に基づき、今後、指定管理者と協議しながら、福祉避難所の整備および、運営マニュアルの策定など、ソフト・ハードとも進めていく。

○低所得高齢者のための施設である都市型軽費老人ホームについて、5か所定員79人分の整備が完了した。入居状況等のニーズを見極め、今後のあり方について検討していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	継続	地域密着型施設の整備を行うとともに、高齢者施設の安定的な運営とサービスの一層の向上を図る。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
区外法人立特別養護老人ホーム建設費補助	07-01-15	11,467	11,467	継続	継続	必要性は高く、支払完了年度まで補助を継続する。
養護老人ホーム建設費助成	07-01-16	1,366	1,366	継続	継続	必要性は高く、支払完了年度まで補助を継続する。
区立特別養護老人ホーム経営支援補助	07-01-17	19,363	18,871	推進	継続	特別養護老人ホームは、介護報酬改定や従事職員の処遇など課題が多い。区立特別養護老人ホームの安定的な運営のために、平成20年度から準用している東京都の補助制度を活用し、今後も継続して支援をおこなっていく。
特別養護老人ホームおよび在宅高齢者通所サービスセンター(SC)管理運営費	07-01-18	88,139	81,466	継続	継続	施設・設備の老朽化、または大規模な災害への対策が求められており、大規模修繕を順次、計画的に進めていく必要がある。
合 計		120,335	113,170			